

あの頃の… ベストリーダー



「あの頃のベストリーダー」
次の5冊は、ある年の「リクエストの多かった本ベスト5」
です。さて、何年前のものかわかりますか？

1 『もし高校野球の女子マネージャーが ドラッカーの「マネジメント」を読んだら』

岩崎夏海／著 ダイヤモンド社

弱小野球部のマネージャーを引き受けることになった女子高生みなみが、「マネージャーって何する人？」と書店で中身見ずに買ってしまったPFドラッカーの経営書『マネジメント』。

すぐに野球とは無関係の内容であることがわかり後悔しますが、読んでいくうちに野球部のマネジメントにも活かせるヒントがたくさん書かれていることに気づいていき…。TVアニメ化、コミック化、映画化もされ、ビジネス書としても注目されました。

2 『1Q84 BOOK1 a novel 4月－6月』

村上春樹／著 新潮社

スポーツインストラクターであり殺し屋でもある「青豆」という女性と、予備校講師であり小説家の卵でもある男性「天吾」。二人の物語が交互に語られるうち、二人を結びつけるカルト教団の存在が浮かび上がってきます。発売前の予約だけでベストセラー入りをして話題になりました。

3 『謎解きはディナーのあとで』 東川篤哉／著 小学館

世界に名を轟かせる企業グループ総帥の一人娘であり新米刑事である宝生麗子が出くわした難解な事件を、彼女に仕える運転手兼執事の影山が、名推理で解決に導きます。お嬢様刑事と毒舌執事のコミカルな掛け合いが楽しみポイント。1巻・2巻で合計260万部のミリオンセラー、2011年本屋大賞を受賞しTVドラマ化されました。

4 『小暮写真館』 宮部みゆき／著 講談社

花菱英一は、両親と弟と4人家族の普通の高校生。しかし、両親が結婚二十周年を機に、念願のマイホームとして古い写真館をそのまま買い取って移り住んだ時から、身の回りに不思議なことが起こり始めます。2013年にTVドラマ化されました。

5 『夜行観覧車』 湊かなえ／著 双葉社

分不相応な高級住宅街に念願のマイホームを持つことになった遠藤家。主婦の真弓が思っていた優雅な生活とは裏腹に、ご近所づきあいに悩まされる生活が始まります。やっとのことで家族ぐるみの付き合いになった隣家・高橋家も、子どもの受験をめぐる微妙な関係に。そんな中、隣家の主人・弘幸が、突然な何者かに殺されるという事件が起こります。2013年にTVドラマ化されました。

これは平成23年4月1日時点のベスト5です。平成23年(2011年)といえば、3月に起こった震災が人々の記憶に今も深く刻まれています。出版界ではミリオンセラーが続出した年でもありました。ここには挙げられていませんが、『体脂肪計タニタの社員食堂』(大和書房)がメガヒットをしたのもこの年です。

また、ランキング上位に入っている本が前年から続いて売れ続けている本であることもこの時期の特徴で、これは「売れる本を重点的にPRする」という出版不況時における版元等の販売戦略が背景にあるようです。この状況を反映してか、上記5冊はすべて前年から続いてベスト10以内に入っています。

4 ————— 1

府中市 図書館 だより

第40号

平成29年1月4日
発行 府中市立図書館



干支あれこれ

あけましておめでとうございます。本年も府中市立図書館をどうぞよろしく願いいたします。2017年は酉年です。年賀状や、初詣に行ったときなど、ニワトリの絵やモチーフを見かけたことが多かったのではないのでしょうか。そもそも「干支」ってどういうものなのでしょう。そしてなぜ一年ごとに動物が当てられているのかご存知ですか？図書館の資料を使いながら、色々な切り口で「干支」の謎に迫ってみましょう。

そもそも干支って何？

干支と聞いて一番先に思い浮かべるのは、十二支の動物たちだという人が多いのではないのでしょうか。猫がなぜ十二支に入っていないのか、なぜ順番が決まっているのかを、子どもたちはまず昔話で知ります。『十二支のはじまり』(岩崎京子／文 二俣英五郎／画 教育画劇)。

『広辞苑 第6版』で「干支」と調べてみると、「十干十二支。十干を五行(木・火・土・金・水)に配当し、陽をあらわす兄(え)、陰をあらわす弟(と)をつけて名とした、甲(きのえ)、乙(きのと)、丙(ひのえ)、丁(ひのと)、戊(つちのえ)、己(つちのと)、庚(かのえ)、辛(かのと)、壬(みずのえ)、癸(みずのと)に十二支を組み合わせたもの。』で、60種ある組み合わせを年・月・日・時、生年や方位・時刻に当てていとあります。

では「十二支」とは？これも同様に引いてみると、「曆法で、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の称。中国で十二宮のおのおのに獣をあてたのに基づくという。」とのことでした。『十二支の民俗誌』(佐藤健一郎ほか／著 八坂書房)、『干支ってなあ〜に？』(霧見恵明／著 チクマ秀版社)など、「干支」をテーマに書かれた資料を開いてその歴史を調べてみると、「干支」の起源は中国といわれているようですが本当のところは不明なのだそうです。

暦に干支は欠かせない！？

現在日本で使われている暦は太陽暦の一種のグレゴリオ暦ですが、明治6年までは旧暦(太陰太陽暦)を使用していました。

旧暦は二千数百年前より古代中国で発達し、十干・十二支じゅうじっかん・六十干支(十干と十二支の組合せ)が、年・月・日などに用いられています。また、テレビなどでよく聞く「暦の上では…」という言葉は旧暦を指しており、現在でも身近な存在となっています。『旧暦読本』(岡田芳朗／著 創元社)

人生の節目として祝われている還暦は、六十干支を割り当てた年をすべて経て一回りし、自分の生まれた年の干支に戻ることをいいます。同じ干支は本来60年に一度しかめぐって来ないのですね。ちなみに、今年の六十干支は「丁酉(ひのと)り」です。

今年の干支「酉」

「酉」という漢字は「ユウ」という音読みですが、あてはめられた獣がニワトリの姿をしているので、日本では「とり」と呼んでいるそうです。『十二支になった動物たちの考古学』(設楽博己／編著 新泉社)には、ニワトリとわかる考古遺物の例が写真で紹介されています。十二支を彫りつけた石に描かれた鶏頭の人物で、体は人間のようですが、頭にトサカがあることが見てとれます。

また、十二支の動物達と人間のかかわりを伝説や民俗学の視点から描いた『十二支考1〜3』(南方熊楠／著 平凡社)や、漢学者による文字の話や格言などが書かれた『十二支物語 新装版』(諸橋轍次／著 大修館書店)でも「とり」にまつわる話がかかれていています。

参考資料

『十二支のはじまり』(岩崎京子／文 二俣英五郎／画 教育画劇)
『広辞苑 第6版』(新村出／編 岩波書店)
『十二支の民俗誌』(佐藤健一郎ほか／著 八坂書房)
『干支ってなあ〜に？』(霧見恵明／著 チクマ秀版社)
『旧暦読本』(岡田芳朗／著 創元社)
『「還暦」に赤いちゃんちゃんこはなぜ？』(山本三千子／著 講談社)
『旧暦はくらしの羅針盤』(小林弦彦／著 日本放送出版協会)
『十二支になった動物たちの考古学』(設楽博己／編著 新泉社)
『十二支考1〜3』(南方熊楠／著 平凡社)
『十二支物語 新装版』(諸橋轍次／著 大修館書店)
『十二支の消しゴムスタンプ年賀状』(立澤あさみ／著 マール社)
『やさしい十二支の木彫り』(駒沢聖刀／著 日貿出版社)

十二支の動物をつくってみよう！

年末年始に街を歩いていると、十二支やその年の干支をモチーフにしたものをよく見かけるのではないのでしょうか。図書館では『十二支の消しゴムスタンプ年賀状』(立澤あさみ／著 マール社)や『やさしい十二支の木彫り』(駒沢聖刀／著 日貿出版社)など、自分でも作れる「干支」の本を多数所蔵しています。手芸や折り紙などの手作りの十二支の動物たちを新年に飾り、この機会に改めて「干支」を感じてみてはいかがでしょうか。

特集展示 【今から始める 「明るい終活」】

図書館では講演会【今から始める「明るい終活」】(講師：小谷みどり氏(第一生命経済研究所主席研究員))を開催します。これに合わせ講師の著作、及び関連の本を集め、特集展示を企画いたしました。誰も迎える人生の最後。変化する時代の中で何か準備するべきなのか—まずは知ることから。

これを機会に、一度お手にとってご覧ください。
*なお、講演会の受付は終了しました。

▽特集展示期間
平成29年1月31日(火)まで
▽展示場所
中央図書館3階 特集展示コーナー

掲示板

■全館休館のお知らせ

▽全館の臨時休館について
2月6日(月)は図書館システム停止のため、図書館は市内全館で休館となります。ホームページもアクセスできません。ご了承ください。

お知らせ
その1

■休館のお知らせ

▽蔵書点検のため、次の日程で休館します。

	館名	日程
2月	白糸台 西府 新町	20日(月)～22日(水)
3月	武蔵台 紅葉丘 片町	6日(月)～8日(水)

お知らせ
その2

■エレベーター工事について

新町図書館・紅葉丘図書館では、エレベーター改修工事を予定しています。工事期間中は、エレベーターをご利用いただくことができません。また、工事に伴う騒音・振動等が発生します。ご不便をおかけしますが、ご理解と協力をよろしくお願い申し上げます。

お知らせ
その3

▽工事予定期間

新町図書館 1月23日(月)～2月末(予定)
紅葉丘図書館

中央図書館の行事予定

1月	22日(日) 図書館ガイドツアー 29日(日) 新春「府中寄席」 31日(火) 図書館講演会『今から始める「明るい終活」』
2月	19日(日) 図書館ガイドツアー
3月	18日(土) ビジネス支援イベント(株)樗沢講演会 19日(日) 図書館ガイドツアー 29日(水) 図書館員体験ツアー ●催しは予約制です

OPAC検索案内のお知らせ

館内の検索機(OPAC)のご案内です。触ったことのない方でも大丈夫！マンツーマンで行います。
検索機は資料探しに欠かせません。入力のコツなど、質問内容に合わせて15分程度のご案内をいたします。
毎週水曜と最終週の日曜、午後2時～3時半の間に3階の総合カウンターへお申し出ください。

お問合せ

府中市立中央図書館

〒183-0055 府中市府中町2-24
TEL 042-362-8647

ホームページアドレス
http://library.city.fuchu.tokyo.jp

府中市 イメージキャラクター 大集合!

③

府中市にはイベントで出会えるキャラクターや、ポスターやお知らせなどの身近なところで皆さんを見守っているキャラクターなど、まだまだたくさんのイメージキャラクターたちが活躍しています。皆さんもぜひ、府中の街でいろんなキャラクターを探してみてはいかがでしょうか。

けやきち うめちゃん

府中市の青少年健全育成キャラクターとして誕生。

誕生日：1月9日
出身地：健全育星
好きな色：青
好きなこと：府中市の子どもの元気を眺めること

府中市では犯罪や非行から青少年たちを守り、健やかに成長できるよう放課後の小学校を利用した「けやきッス（放課後子ども教室）」をはじめ、様々な支援や事業、地域での見守りなどを行っています。その府中市青少年健全育成の Mascotキャラクターとして誕生したのが「けやきち」と「うめちゃん」です。

市の木であるけやきの精をモチーフにし、大きな葉っぱのしっぽをもつ「けやきち」。そして市の花であるウメの精をモチーフにし、大きなウメの花を頭につけた「うめちゃん」。2人は青少年健全育成協力店に加入している市内のお店の標章や、青少年健全育成事業のポスター、学童クラブや放課後子ども教室「けやきッス」のポスターなどに登場し、身近なところで子どもたちを見守っています。

また青少年健全育成情報紙「けやきち通信」では、青少年たちが健やかに育っていくうえで役立つ情報や防犯情報などを、けやきち達がお届けしています。悩んだときの相談窓口の紹介や、青少年向けイベントのお知らせも掲載されていますので、ぜひ一度ご覧ください！けやきち通信は各文化センターをはじめ、図書館、美術館など市の主要施設で配布しています。

参考資料
新聞記事「青少年健全育成協力店 コンビニなど45指定」（2003-09-25読売新聞）
「府中市ホームページ けやきち通信」バックナンバー
(<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/kosodate/kyoiku/ikuse/keyakichi.html>)



古都見(ことみ)ちゃん

府中観光協会イメージキャラクター。
いにしえの世界から現代の府中にやってきた妖精。
年齢：不詳
性別：なし
性格：明るくて、とっても好奇心旺盛。
たくさんお友だちをつくりたくて、府中のまちを散歩しています。

趣味：散歩
好きな食べ物：すもも、くり、ブルーベリー
口ぐせ：語尾に「ふっちゅう！」っていうよ！
チャームポイント：古代ヘアー
(2つに結って黄色のゴムで留めるよ)



府中市には大國魂神社や武蔵国府跡、国指定天然記念物のケヤキ並木をはじめ、様々な史跡・自然・文化施設などの観光スポットがあります。また府中市ならではのおみやげ品や特産物の紹介、市内のイベント情報など、様々な観光情報を発信しているのが府中観光協会です。大國魂神社参道入り口横には観光情報センターもあります。

古都見ちゃんはそのイメージキャラクターとして誕生しました。チャームポイントは個性的な「古代ヘアー」！観光パンフレットやポスターなど、府中の魅力を発信する様々な場面で府中PRのお手伝いをしています。もっている袋の中には府中のおみやげがたくさんつまっているとか…。

古都見ちゃんは、お友だちをたくさん作りたくていつも府中の街をお散歩しているそうです。市内のお祭やイベントでばったり会えるかもしれません。どうしても会いたい人は2月3日に行われる大國魂神社節分祭や、3月5日の郷土の森観光物産館足湯イベントがチャンスです！

参考資料
『府中市観光振興プラン』(府中市市民生活部経済観光課)
『府中太鼓判&観光みどころMAP』VOL. 1、5、6
「府中観光協会」(<http://www.kanko-fuchu.com/>)

ピースター

ボートレース平和島の Mascotキャラクター。
誰もが気軽に楽しめるエンターテインメントとして、ボートレース平和島をアピールしているクジラです。



大田区にある「ボートレース平和島」をご存知ですか？実はこちら、府中市が施行権を持ち運営しているボートレース場なのです。1954年(昭和29年)6月5日に第1回都営大森競艇が開催されましたが、不振続きのため当時の運営元だった東京都は翌年9月2日をもって開催を中止せざるを得ませんでした。そこで、東京都に代わる施行者として府中市が1955年(昭和30年)に施行権を得て、9月20日に第1回府中市営大森競艇が開催されることになったのです。以降、ボートレース平和島の収益は、府中市のインフラ整備や公共施設の建設、市民への公共サービスを支える大事な役割を担っています。

健康的なレジャーとしてのボートレース「ボートレース平和島」を、より多くの人に楽しんでもらおうと生まれたのがクジラのピースター。レースやイベントを盛り上げてくれます。迫力あるレースはもちろん、場内には平和島グルメを堪能できるお店や、大きなレースの開会式や選手たちのインタビューを聞くこともできるイベントステージなど、楽しめる要素が盛りだくさんです。少し離れたもう一つの「府中市」にも、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

府中市立図書館では、府中市が施行を始めてからのボートレース平和島の記念誌がご覧いただけます。

参考資料
『ボートレース平和島60周年記念誌 ありがとう。これから』(府中市事業部)
ボートレース平和島オフィシャルサイト
(<http://www.heiwajima.gr.jp/>)

中学生の 職場体験



昨年もたくさんの中学生が図書館で職場体験を行いました！図書館でのお仕事は、本の貸出や返却だけだと思いませんか？

図書館には、外からは見えない「バックヤード」のお仕事がたくさんあります。中学生のみなさんにも、カウンターでの本の貸出や返却、書架整理だけでなく、本の修理やフィルムコートかけ、おはなし会や講習会への参加、展示物や印刷物の作成、ブックポストの返却業務など、利用者の方から見えない場所で色々なお仕事を体験してもらいました。

中学生のみなさんが将来を考える一つのきっかけになってくれることを期待しています。体験生が作成したPOPカードは、中央図書館Y Aコーナーに掲示しています。ぜひご覧ください。



おはなし会の 日程1月~3月

ご案内

「おはなしの森」では絵本や昔話の読み聞かせを、「ちいさい子のためのおはなし会」では赤ちゃん絵本の読み聞かせやわらべうたを行っております。

〈ちいさい子のためのおはなし会〉

●中央図書館

日時／ 1~3月の第2・4木曜日
午前10時半~11時

対象／ 1・2歳児と保護者

☆おはなし会の後に絵本のプチ講座も行います。

●地区図書館

日時／地区図書館「おはなしの森」と同日の
午前10時半~11時
(四谷図書館のみ1月18日、2月15日、3月15日(水))

〈おはなしの森〉

●中央図書館

日時／
①1~3月の毎週木曜日 午後3時半~4時
②1月7日、2月4日、3月4日(土)
午前11時~11時半

対象／ 3歳~小学生(保護者同伴可)

●地区図書館

日程／
押立図書館——1月4日、2月1日、3月1日(水)
宮町図書館——1月11日、2月1日、3月1日(水)
白糸台・西府図書館——1月11日、2月8日、3月8日(水)
片町図書館——1月11日、2月8日、3月15日(水)
武蔵台・新町・是政図書館——1月18日、2月15日、3月15日(水)
四谷図書館——1月19日、2月16日、3月16日(木)
紅葉丘図書館——1月25日、2月1日、3月1日(水)
住吉・生涯学習センター図書館——1月25日、2月22日、3月22日(水)

時間と対象／

午後3時半~4時／ 3歳~小学生(保護者同伴可)
(新町の1~3月、紅葉丘の1月は午後2時半~3時)

